

- 問1 鎌倉幕府において、将軍から領地の所有権を認められるなどの恩恵を何という？
- 問2 鎌倉時代、朝廷やその有力な支援者たちが支配していた土地を何という？
- 問3 源頼朝が御家人たちに与えた、土地の領有権を認めたり保証したりする権利を何という？
- 問4 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけで、イスラム勢力から聖地エルサレムを奪還するために組織された遠征軍を何という？
- 問5 鎌倉時代に栄西によって伝えられ、曹洞宗とともに武士から厚い支持を受けた禅宗の宗派を何という？
- 問6 源頼朝の弟として、壇ノ浦の戦いで平氏を打ち破る中心的な役割を果たした人物は誰？
- 問7 13世紀にモンゴル高原を中心に勢力を拡大し、フビライ・ハンが建てた帝国を何という？
- 問8 鎌倉幕府の御家人が、軍役として警備を担当した場所をどこ？
- 問9 イタリア出身の旅行家で、フビライ・ハンに仕え、日本を『黄金の国ジパング』としてヨーロッパに紹介したのは誰？
- 問10 鎌倉時代に新しい仏教の一派である「時宗」を開き、布教活動を行った僧侶を何という？
- 問11 元軍の襲来に備えて、鎌倉幕府が九州北部の海岸に築いた石造りの防衛線を何という？
- 問12 元を訪れ、その見聞を記録として残したイタリアの商人は誰？
- 問13 浄土真宗で重要視された、自分の修行力ではなく、阿弥陀仏の力によって救われるという考え方を何という？
- 問14 東大寺南大門の金剛力士像などを制作した、鎌倉時代の有名な仏師は誰？
- 問15 一遍が踊り念仏を通して信仰を広めた、浄土信仰の中心となる仏を何という？
- 問16 13世紀にモンゴル帝国を築き、後に日本へ侵攻を企てた人物は誰？
- 問17 元寇に備えて博多湾岸に築かれた、石造りの防壁を別名で何という？
- 問18 鎌倉時代の武士の間で広く行われていた、親の領地を子や女子などに分けて相続させる仕組みを何という？
- 問19 運慶が快慶らと協力して制作した、奈良の東大寺南大門に安置されている有名な彫刻作品を何という？
- 問20 鎌倉幕府が、地方の軍事や警察、徴税を行うために設置した役職は守護と何か？
- 問21 鎌倉時代に、踊り念仏を広めて時宗を開いた僧侶は誰？
- 問22 1221年に幕府打倒を計画し、承久の乱を起こした上皇は誰？

答え合わせ・解説

問1	答え 御恩	御恩とは、将軍が御家人に対して行う経済的・地位的な保護のことです。主なものとして、先祖伝来の土地の所有を認める「本領安堵」や、手柄を立てた者への「新恩給与」がありました。これに対し、御家人は軍役（戦いの際の兵士としての務め）や京都・鎌倉の警備などの奉公を果たす必要がありました。
問2	答え 貴族	貴族は、朝廷の官職に就くことで権力を持ち、経済基盤として荘園を経営していました。鎌倉時代に入り、武士による政治（幕府）が成立すると、貴族の政治的影響力は徐々に低下していきましたが、京都を中心に高度な文化を保持し続けました。
問3	答え 御恩	「御恩」とは、将軍が御家人に対して本領の安堵（土地の支配権を認めること）や、新しい領地の供与を行うことです。これに対して御家人は「奉公」という軍役や警備の義務を負いました。
問4	答え 十字軍	1095年、ローマ教皇ウルバヌス2世の呼びかけにより、聖地を奪還するための軍勢が組織されました。遠征は複数回にわたって行われ、盾に十字の印をつけたことから「十字軍」と呼ばれます。
問5	答え 臨済宗	臨済宗は、宋（中国）から日本に伝えた禅宗です。座禅を通じて自分自身を見つめ直し、悟りを開くことを目的とします。座禅の際に問いかけを用いる「公案（こうあん）」という独特の修行方法があるのが特徴です。
問6	答え 源義経	源義経は、一ノ谷の戦いや屋島の戦いなど、数々の戦いで創意工夫を凝らした戦術を用いて平氏を追い詰めました。最終的な決戦となった壇ノ浦の戦いにおいても、巧みな指揮で源氏の勝利を決定づけました。その武勇は伝説化され、日本で最も有名な英雄の一人となりました。
問7	答え モンゴル帝国	五代皇帝フビライ・ハンは、都を現在の北京である大都に移し、中国全土を支配下に置くために国号を「元」と決めました。このモンゴル帝国は、東西の交通路を整備し、シルクロードを通じた交流を活性化させました。また、強大な軍事力を持って周囲の国々に服属を要求しました。
問8	答え 京都	御家人の重要な軍役の一つに、京都の警備を担う「京都大番役」があります。これは、将軍の命令により一定期間、京都へ赴き治安維持を行うものでした。他にも鎌倉周辺の警備も担当しており、これらは御家人が将軍に対して奉公を果たす具体的な役割でした。
問9	答え マルコ・ポーロ	マルコ・ポーロはベネチアの商人・旅行家で、元のフビライ・ハんに長く仕えました。帰国後に執筆した『東方見聞録』の中で、日本を「黄金の国ジパング」として紹介しました。これを見たヨーロッパの人々は、海路によるアジアへの関心を高めることとなりました。
問10	答え 一遍	一遍は浄土教の一派である時宗を開きました。彼は諸国を旅しながら、念仏を唱えて踊る「踊念仏」や、念仏を記した札を配る「賦算（ふさん）」といった活動を行い、身分を問わず広く信仰を集めました。彼の活動記録は「一遍上人絵伝」として残されています。
問11	答え 防塁	博多湾の沿岸などに高さ約2メートルの石垣を築き、元軍の上陸を阻止するための備えとしました。この石垣を石築地（いしづいじ）とも呼びます。
問12	答え マルコ・ポーロ	マルコ・ポーロは父親らと共にヴェネツィアを出発し、数年かけてモンゴル帝国の都である大都に到着しました。彼は約17年間フビライ・ハんに仕え、中国全土を巡察して貴重な情報を得ました。帰国後に執筆された『東方見聞録』では、東洋の富の凄まじさや、日本の存在について詳細に記しました。
問13	答え 他力本願	他力本願は、自分の力で行う修行（自力）に頼るのではなく、すべてを阿弥陀仏の力（他力）に任せて救いを求める考え方です。親鸞はこの姿勢こそが真の信仰であると説き、出家せずにただ念仏を唱えるだけで救われる道を提示しました。
問14	答え 運慶	「運慶」は、奈良の東大寺南大門に安置されている巨大な「金剛力士像」を、快慶と共に制作した仏師です。筋肉の動きや表情までリアルに再現する写実的な作風は、当時の人々に衝撃を与えました。
問15	答え 阿弥陀仏	阿弥陀仏は、無限の寿命を持ち、すべての生き物を救う仏と信じられていました。鎌倉時代には、念仏を唱えるだけで救われるという考えが民衆に受け入れられ、一遍のような僧侶たちが熱心に信仰を普及させました。
問16	答え フビライ	第5代皇帝フビライ・ハーンは国号を「元」と改め、大都（現在の北京）を拠点に東アジアの覇権を握ろうとしました。彼は日本に対しても外交使節を派遣して服属を求めましたが、幕府がこれを拒否したため、1274年の文永の役と1281年の弘安の役という2度の遠征軍を日本に送りました。
問17	答え 防塁	防塁（石築地）は、博多湾岸に長さ約20kmにわたって築かれた石の壁です。これにより、元軍の得意とする騎馬戦術や集団行動を封じ込め、日本軍が待ち伏せや遠距離からの弓矢攻撃を行いやすい環境を作りました。鎌倉幕府の組織力と御家人の動員力が発揮された代表的な防衛事業です。
問18	答え 分割相続	親が持つ領地を、男子だけでなく女子にも分けて相続させるのが一般的なルールでした。当時は女性も地頭として土地を管理する権利を持っており、家族が協力して家を支える社会構造が一般的でした。
問19	答え 金剛力士像	東大寺南大門に配置された金剛力士像は、運慶と快慶らの工房が分担して短期間で完成させました。筋肉の盛り上がりや血管の浮き出た表現、衣のひだの動きなど、極めて写実的で生命感あふれる特徴を持っています。
問20	答え 地頭	守護は各国の軍事指揮や治安維持を行い、地頭は荘園や公領の管理、年貢の徴収を行いました。これにより、幕府は朝廷の権限が強い地域にも介入できるようになりました。地頭の中には、横暴な振る舞いをして農民や荘園領主とトラブルを起こす者も多く、幕府の権力基盤としての側面と、社会問題の原因という側面を持っていました。
問21	答え 一遍	一遍は全国を旅しながら、念仏を唱えて踊る「踊り念仏」を行うことで、阿弥陀仏の教えを広めました。彼が始めた宗派は時宗と呼ばれ、身分に関係なく多くの民衆から支持を集めました。
問22	答え 後鳥羽上皇	後鳥羽上皇は、自らを支持する武士たちを集めて幕府軍への反撃を試みました。しかし、北条政子の檄に応じた御家人たちの結束によって幕府軍が勝利しました。戦後、後鳥羽上皇は隠岐（現在の島根県）に流され、朝廷の権威は以前よりも大きく低下することとなりました。